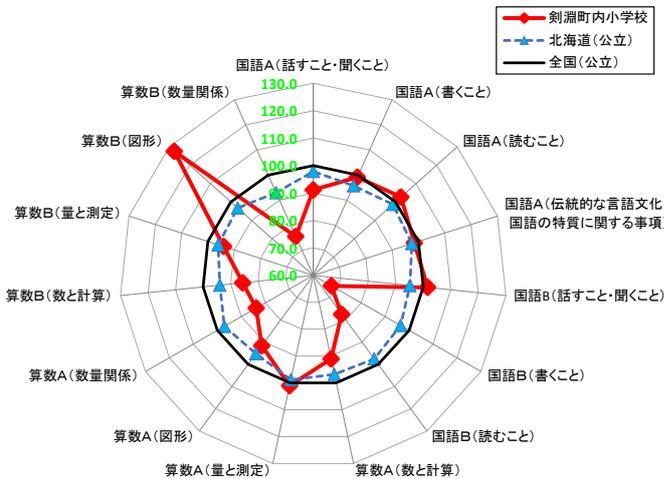


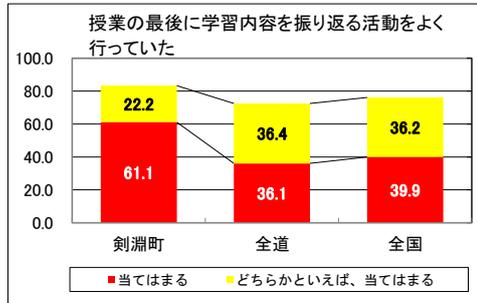
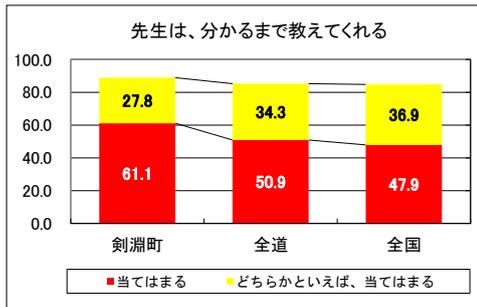
■ 剣淵町内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 1、児童数: 18名)

【教科全体の状況】

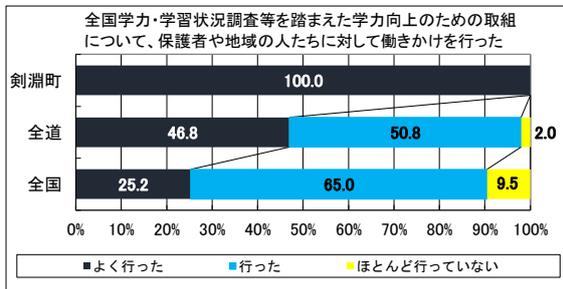
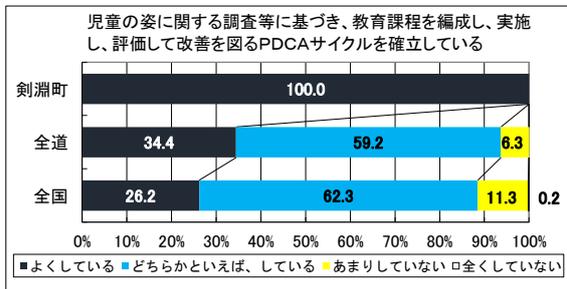
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「読むこと」、Bでは、「話すこと・聞くこと」で、全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」、Bでは、「図形」で、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の最後に学習内容を振り返る活動を位置付けたことにより、学習内容の理解が図られ、学力が向上している。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えたことにより、学習内容の定着につながっていると考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。 ○ 全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけをよく行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について保護者等に働きかけを行ったことにより、児童の学力向上につながることができたと考えられる。

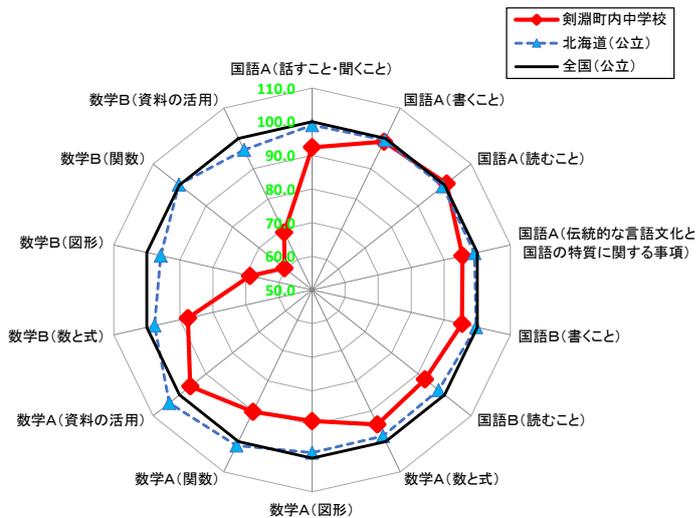
【剣淵町の学力向上策】

- ◎ 学習規律の定着及び課題解決的な学習、個別・習熟度別学習の充実に向けた指導計画の工夫
- ◎ 全国学力・学習状況調査などを活用した成果の検証と学校改善プランの見直しの推進
- ◎ 学校司書の配置による図書室を活用した学習の充実

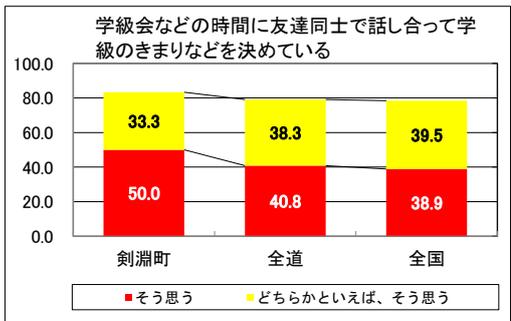
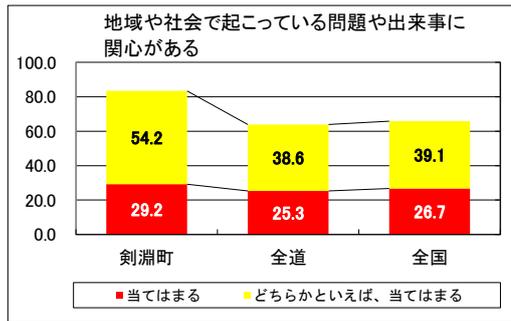
■ 剣淵町内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 1、生徒数: 24名)

【教科全体の状況】

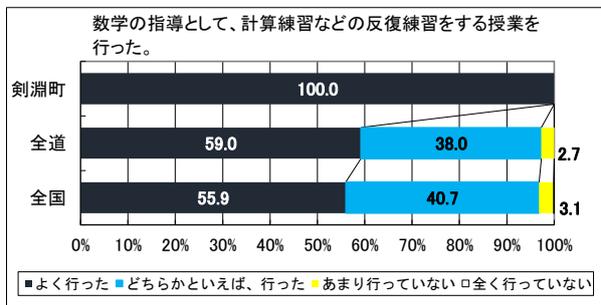
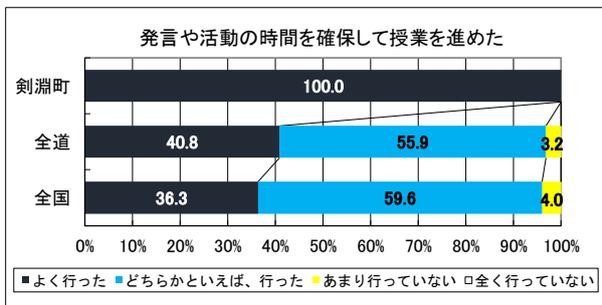
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「読むこと」で、全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」で、全国平均に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業や学級会において、生徒が発言したり、話し合ったりする活動を積極的に行ったことにより、生徒の学習意欲が高まり、学力の向上につながったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の基礎的・基本的な学力が定着するよう、数学において、計算練習などの反復練習をする授業を積極的に行ったことにより、学力が向上してきていると考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発言や活動の時間を確保して授業を進めた。 ○ 数学の指導として、計算練習などの反復練習をする授業をよく行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発言や活動の時間を確保して授業を進めるなどの授業改善を図ったことにより、国語A・Bにおいて全国との差が縮まってきたと考えられる。

【剣淵町の学力向上策】

- ◎ 学習規律の定着及び課題解決的な学習、個別・習熟度別学習の充実に向けた指導計画の工夫
- ◎ 全国学力・学習状況調査などを活用した成果の検証と学校改善プランの見直しの推進
- ◎ 学校司書の配置による図書室を活用した学習の充実